

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検、評価報告書

令和元年度事業の評価結果

令和2年12月16日

安芸太田町教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
------	-----

学校教育課

1 学校の概要及び教育施策（評価無し）	3 頁
2 教育委員会費	
（1）教育委員会運営事業（評価無し）	5 頁
3 事務局費	
（1）教育委員会事務局運営事業	6 頁
（2）奨学金貸付基金運営事業	8 頁
（3）連携教育推進事業	9 頁
4 学校管理費（小・中学校）・幼稚園費	
（1）小・中学校管理事業・幼稚園管理事業	11 頁
5 教育振興費（小・中学校）	
（1）小学校教育振興事業・中学校教育振興事業	14 頁
（2）小学校就学援助事業・中学校就学支援事業	16 頁
（3）「山・海・島」体験活動推進事業	18 頁
6 幼稚園費	
（1）幼稚園管理事業	19 頁
7 保健体育費	
（1）加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業	20 頁

生涯学習課

1 社会教育費	
（1）社会教育総務管理事業	23 頁
（2）社会教育施設管理事業（評価無し）	24 頁
（3）文化財保護管理事業	24 頁
（4）生涯学習推進事業	25 頁
（5）図書館運営事業	33 頁
（6）放課後子ども教室推進事業	35 頁
2 保健体育総務費	
（1）保健体育総務管理事業	37 頁
（2）体育施設管理事業（評価無し）	40 頁
（3）社会体育振興事業	42 頁

はじめに

1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

安芸太田町教育委員会では、事務・事業の点検を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化の実現、コスト削減を進めるために、評価し、仕事の再点検・再確認を行うとともに、厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、効率的な教育行政の推進に資するよう努めます。

2 安芸太田町教育委員会点検・評価の方法

評価は各事業等について、行政内部による評価を行います。

その後、社会教育委員会議（外部委員）に諮り、議会への提出、ホームページで公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上の工程を毎年繰り返すことで、事業の改善を進めよりよい教育行政の運営に努めます。

3 実施の方法

◎ 評価について

(1) 評価の対象とする事業

事業評価をする項目は、安芸太田町主要施策の成果に関する調書をベースに評価します。ただし、予算のほとんどが事務費や管理費である場合は、評価しません。評価する年度で終了・廃止となる事業についても、すべて評価対象となります。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

事業評価は事業予算担当者が評価者となります。

(3) 事業の評価

ア 必要性

現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

イ 有効性

施策や運営方針、町で策定した長期総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

ウ 経済・効率性

事業のコストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。

また、事務状況の評価し、併せて目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

エ 評価

事業の各評価項目を勘案し、外部評価委員の評価と意見の聞き取りを行います。

～ 評価のランク ～

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

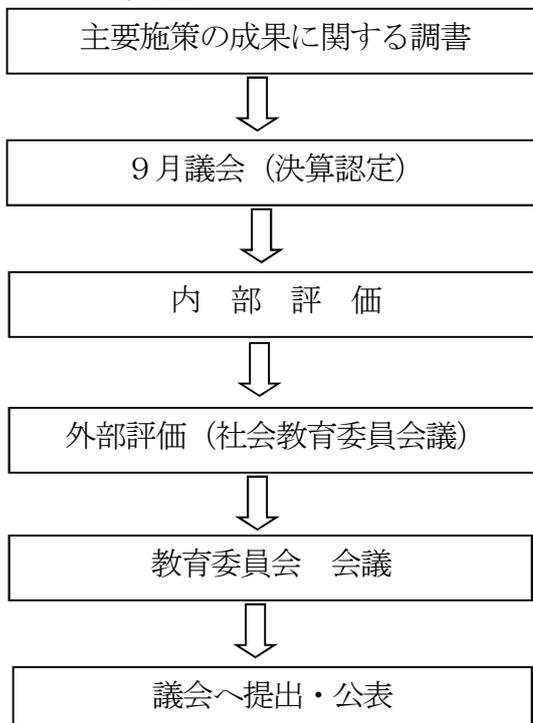
(4) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択します。

(5) 評価結果の公表

公表に際しては、議会へ提出し町ホームページに掲載します。

～ 実施フロー ～



教育委員会 学校教育課

1. 学校の概要及び教育施策

小学校は、児童数 203 名で前年度と比べて 1 名増で、学級数は増減なし（特別支援学級も増減なし）であった。

中学校は、生徒数 100 名で前年度と比べて 13 名減で、学級数は増減なし（特別支援学級も増減なし）であった。

広島県教育委員会の掲げる「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランによる「幼保小連携教育の推進」を安芸太田町でも 2 年間の委託事業を活用して今年度から取り組みを始めた。園・所等の教員・保育士等と小学校教員が協働して「安芸太田町のめざす子ども像」に向けて次年度から活用する接続カリキュラムを作成した。

本町が日本技術士会中国本部と提携して主催する「安芸太田町科学アカデミー（次世代科学者育成プログラム）」は 7 年目となり、昨年と同様に科学工作と呉工業高等専門学校の先生や生徒の協力による「プログラミング教室」を児童生徒向けと小学校教員向けに行った。プログラミング教室では、小学生と中学生が協力し合いながらプログラミングを楽しむ姿が見られた。

小学校 6 年と中学校 3 年を対象とした「全国学力・学習状況調査」では、小中ともに算数や数学に課題があった。中学校の英語科については、県内トップレベルであり、7 年連続で英語暗唱大会県大会への出場となっている。各校では個に応じた指導となるよう改善計画を策定し、指導主事が学校へ出向いて実施方法も検討しながら学力向上に取り組んでいる。

外国語活動については、JET プログラムにより招聘した外国語指導助手（ALT）2 名と、外国語教育推進員を加えた 3 名配置を活かし町内の就学前施設や小学校、中学校へ定期的に訪問した。また、小学校と中学校職員の英語科交流の充実を図り、町全体の英語教育の充実に努めた。

学校教育環境整備では、平成 30 年度秋に導入した児童生徒用タブレットの活用に向け、教職員で操作方法や応用的な活用について研修を深めた。今後は国が進める GIGA スクール構想の実現にあわせて「校内 LAN 及び 1 人 1 台端末」整備について計画的に取り組んでいく。

令和 2 年 1 月以降、新型コロナウイルス感染症による集団感染が国内で発生し、国の要請によりその感染拡大防止のため長期に渡り休校することとなった（3 月 2 日から春休みまで）。各学校においては、家庭で行う自学習のためのプリント教材の配布を行い、家庭訪問や電話で児童生徒の様子を把握した。修了式や離退任式といった行事は行わず、卒業式は参列者を限定して行った。

(1) 学校別児童・生徒数及び教職員数（令和元年5月1日現在）

小学校

(単位：人)

	加計	筒賀	上殿	戸河内	合計
学級数	7(1)	5(1)	4(1)	4	20(3)
1年生	19	10(1)	2	5	36
2年生	15	7	4	6	32
3年生	18(1)	8	3	7	36
4年生	15	6	9(1)	5	35
5年生	20	5	4	3	32
6年生	18(1)	4	3(1)	7	32
計	105	40	25	33	203
学校長	1	1	1	1	4
教頭	1	1	1	1	4
教諭	10	5	3	4	22
養護教諭	1	1	1	1	4
事務職員	1	1	1	1	4
栄養教諭	0	1	0	0	1
計	14	10	7	8	39

※学級数の（ ）は、うち特別支援学級数。

※教職員数 教諭は、本務者の数。

中学校

(単位：人)

区分	加計	安芸太田	合計
学級数	5(2)	4(1)	9(3)
1年生	17(1)	15	32
2年生	22(1)	9(1)	31
3年生	24(1)	13(1)	37
計	63	37	100
学校長	1	1	2
教頭	1	1	2
教諭	11	10	21
養護教諭	1	1	2
事務職員	1	1	2
計	15	14	29

※学級数の（ ）は、特別支援学級数。

2. 教育委員会費

(1) 教育委員会運営事業

① 安芸太田町教育委員等

教育長：二見吉康

教育委員：清胤祐子・河野義文・池野博文・河本千絵

② 教育委員会議の開催状況

14回

日 時	主な協議事項	出席委員
4月25日	各報告協議	5
5月23日	安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町立図書館協議会委員の任命について 安芸太田町学校運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について 安芸太田町遠距離児童・生徒及び園児通学（園）費補助金交付規程の一部改正について	5
5月29日	安芸太田町立図書館協議会委員の任命について	5
6月21日	各報告協議	5
7月16日	安芸太田町招致外国語青年任用規則の改正について 安芸太田町国際交流員設置規則の廃止について	3
8月8日	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について	5
8月26日	安芸太田町立学校設置条例の一部改正等条例案を定例議会へ上程することについて 著作教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について	5
9月17日	安芸太田町学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部改正について	5
10月15日	各報告協議	5
11月7日	各報告協議	4
12月18日	各報告協議	5
1月16日	安芸太田町立図書館運営協議会委員の任命について	4
2月19日	各報告協議	4
3月16日	安芸太田町立図書館管理規則の一部改正について 安芸太田町立学校の教育職員の業務量の適切な管理及び健康・福祉の確保を図るための方針について 安芸太田町学校運営協議会委員の委嘱について 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について	4

③ 学校訪問・研究公開訪問

令和元年6月21日 筒賀小学校・安芸太田中学校

令和元年7月5日 戸河内幼稚園・戸河内小学校・上殿小学校

令和元年7月9日 加計小学校・加計中学校

3. 事務局費

(1) 教育委員会事務局運営事業

● ALT（外国語指導助手）活用事業

① 事業の目的・内容

ALTはJETプログラムによる2名と、外国語教育推進員の3名体制で全小中学校へ毎週（小学校週2回、中学校週2回）訪問し、児童・生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解を深めた。

また、幼稚園や町内各こども園や保育所へ訪問し、就学前教育の充実を図った。

② 事業の成果と課題

新しいALTが新生活や学校生活へ早期に順応できるよう、日本語と外国語ともにネイティブ同等のスキルを持つ外国語教育推進員と共に努めた。外国語教育推進員により、授業者である教諭とALTとがお互いの役割を理解し、チームとなって授業作りに努めることができた。

外国語教育推進員は、幼稚園へは毎週1回、町内保育所及びこども園へは月3回を目指し、訪問した。園所ではゲームや歌あそびをして過ごすことで、英語や多文化に慣れ親しむ機会を確保した。

小学校においては外国語教育推進担当教諭とALTのミーティングを行い、学校との連携方法や充実に向けて話し合った。ALTは新学習指導要領による英語の教科化へ向けた教職員の研修にも参加している。また、授業の中で引き続きALTの自国の文化を紹介する時間や、本の読み聞かせの時間をとり、児童がネイティブな英語に触れる機会を確保している。

中学校においては英語科の授業のほか、休憩時間や他の活動時にも声をかけ、生徒の意欲や力を伸ばすことができた。また、工夫した教材づくりに熱心に取り組み、生徒の興味を引くことができています。英語暗唱大会においては、出場する生徒のサポートを熱心に行った結果、令和元年度も芸北地区の英語暗唱大会で入賞し、1年生と2年生の生徒が県大会に出場した。また、県大会でも1年生の生徒が3位に入賞することができた。

来年度から小学校における英語の教科化と新学習指導要領が始まることに向け、更なる英語教育の充実へ向け有効なALTの活用について検討していく。

また、就学前の教育について更なる充実を図る。

③ 歳出決算額（ALT報酬・費用弁償・負担金） 7,525,351円

④ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	■増加	□横ばい	□減少	□かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	■十分寄与する	□概ね寄与する	□あまり寄与していない	□できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	□十分できている	■できている	□あまりできていない	□できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
□十分できている	■できている	□あまりできていない	□できていない	

備 考			
外部評価	A	評価委員意見	ALTの指導により、英語能力の向上や国際感覚が高まるなどの成果があがっている。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

● 学校 ICT 整備事業

① 事業の目的・内容

今年度は、OS のサポート期限が到来する校務用パソコンが更新推奨時期を経過していることもあり、行政系のパソコンと併せて端末の入れ替えを行い安定的な業務運営のための整備を行った。あわせて、セキュリティ確保のため「校務系」と「学習系」のネットワーク分離を行った。

② 事業の成果と課題

校務系 PC (92 台) を新しい OS 端末 (Windows10) に更新したことにより、最新のシステム及びアプリケーションを有効利用できるようになった。また、最新のセキュリティ対応が可能となる環境を得ることができた。あわせて、「校務系」と「学習系」のネットワーク分離を行い、教育系ネットワークのセキュリティをより強靱なものにすることができた。

今後は、文部科学省の示す改訂版「教育情報セキュリティーポリシーに関するガイドライン」を踏まえながら、クラウド活用を視野に入れた、より安全・安価かつ効率的な ICT 環境整備を計画的に行っていく。

③ 金額

- ア 学校校務系 ICT 機器等整備 (構築・備品含む) 18,358,670 円
イ 学校ホームページ更新作業費 1,453,100 円
ウ その他教育系管理費用

区 分	金 額	備 考
回線使用料	415,680 円	インターネット、プロバイダーほか
システム保守	1,589,496 円	サーバー・ネットワーク保守 ウェブ会議システムほか
機器賃借料	2,579,040 円	サーバー

④ 評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	環境整備に努力され有効に活用されていた。	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 奨学金貸付基金運営事業

① 事業の目的・内容

高等学校、専門学校及び大学に進学を希望するが、経済的な理由から修学が困難な者に対して奨学金を貸し付ける。

令和元年度の新規貸付者は、高校1人、大学7人であった。

奨学基金会計の状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

収支の状況

収入の部		支出の部	
費目	金額 [円]	費目	金額 [円]
返還金	6,757,875	貸付金	8,117,000
前年度繰越金	41,956,484	次年度へ繰越	40,703,606
寄附金	55,000		
利子	51,247		
計	48,820,606	計	48,820,606

貸付状況

区分	貸付者数[人]			貸付額 [円]
	大・専	高	計	
元年度新規貸付	7	1	8	3,341,000
在学貸付中の者	9	2	11	4,776,000
計	16	3	19	8,117,000

奨学基金総額

区分	金額 [円]
貸付金	52,275,500
現金	40,703,606
計	92,979,106

② 事業の成果と課題

進学希望者を経済的に支援することができた。貸付希望については年度によって人数のばらつきがあるものの、現在は収支バランスが保たれている。しかし、今後希望者が急増すれば、基金の不足が予測される。

返還事務のシステム導入については、次期住基システム入替時に検討する。

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	進学に希望が持て学習意欲につながる。人材育成にもなり支援は必要。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(3) 連携教育推進事業

● 連携教育推進事業

① 事業の目的・内容

小学校又は中学校間及び中学校区ごとの小小連携や小中連携といった児童・生徒・教職員を含めた学校間の交流、教育振興を目的とする。

② 事業の成果と課題

本町で進める連携教育の目的達成のためにキャンプ、社会見学、合宿といった合同教育への講師謝礼や児童生徒の移動等に予算を充て、より効率的な推進を図った。

特に今年度から町内中学1年生の合同合宿を町内の深入山周辺で行い、ふるさとの良さを体験、実感させることができた。

夏休みや週休日に、日本技術士会の協力を得て、町内小中学生に向けた科学アカデミー教室を3回開催し、科学的なものづくりや、プログラミングについて学ぶ機会を設けた。

また、新しい学びプロジェクト事業（市町と東京大学による協調学習研究連携）に町内小中学校の推進教職員が参加し、協調学習を主とした授業力向上を推進した

• 人権教育研究推進事業

① 事業の目的・内容

国の委託を受けた広島県教育委員会が、人権教育の総合的な取組により、人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施し、人権教育の一層の推進を図るものである。本事業は3年間継続して行うものであり、今年度は2年目となる。

指定地域：安芸太田中学校区（安芸太田中学校・筒賀小学校・上殿小学校・戸河内小学校）

② 事業の成果と課題

今年度も引き続きこれまで取り組んできた「協調学習」を核として人権教育における知識的側面での資質・能力を育てるとともに、人権教育の視点を踏まえた教育活動を行うことで「自他を大切に作る」児童生徒の育成を目指した。県教育委員会人権教育係の指導主事、東京大学 CoREF の教授等の指導を受けながら取り組み、令和元年11月には研究会を開き、県内外から多くの参加を得て協議を行った。

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	協調学習の取組は確実に深化し、町内の子供たちの学びは深まっている。研究会ではその成果を広く普及できて意義深い。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業

① 事業の目的・内容

本事業は、広島県が「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに掲げた「幼保小連携の成果と課題携教育の推進」が行われるよう、市町の幼稚園・保育所・認定こども園の教員・保育士等と小学校教員等が協働して接続の取組を推進する県の委託事業である。

本年度から2年間当町が指定を受けて取組を推進することにより、幼保小連携教育の充実に資する。

② 事業の成果と課題

1年目となる今年度は、来年度入学する児童が小学校での学びを円滑に始められるよう就学前教育で行うアプローチカリキュラムと小学校で行うスタートカリキュラムの作成に取り組んだ。幼保小の担当者が「安芸太田の目指す子ども像」を意識し、1年を通して授業参観や協議会、専門家を招いて研修を行い、相互の関係を築くとともに就学前教育と学校教育による子どもの姿や関わりの理解を深めることができた。

連携教育推進事業歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
連携教育推進事業	2,039,817	
人権教育研究推進事業	500,000	県委託金 500,000円
「育ちと学びをつなぐ」 幼保小連携教育の推進事業	305,205	県委託金 300,000円
計	2,845,022	

③ 評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	幼保小連携教育は広島県の主要な施策であり、それに先進的に取り組むことは意義深い。園と学校が緊密に連携し町内の子供の学びを繋いでいくことは本町にとって大切である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

4. 学校管理費（小・中学校）・幼稚園管理費

(1) 小・中学校管理事業・幼稚園管理事業

- スクールバス運行（使用料及び賃借料）

遠距離通学に係る小学校便を5路線、中学校便は7路線で運行し、児童生徒の安全な登

下校を確保した。

小学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計小・加計中	修道・安野	8,523,613	小・中学生が一緒に登校
	坪野・津浪	6,438,916	
	殿賀	5,664,364	
戸河内小	松原・柴木	189,711	
	寺領	79,610	
合計		20,896,214	

(統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 4,363,000 円・県費補助 866,800 円)

中学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計中	猪山	1,796,930	中学校のみ利用及び週末部活便
	修道・安野	1,778,721	
	坪野・津浪	1,563,378	
	殿賀	1,368,029	
安芸太田中	寺領・土居・上殿	7,614,606	
	田吹・遊谷・上本郷	6,413,299	
	松原・小坂	8,545,120	
合計		29,080,083	

(統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 5,487,000 円・県費補助 1,103,200 円)

① 評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
備考			
外部評価	B	評価委員意見	児童生徒の安全な登下校を確保できたことは良い。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

● 児童生徒送迎用スクールバス購入事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が通学に係るスクールバス（ハイエース）を購入し児童生徒の安全な登下校を確保する。また、部活動や学校での課外活動等に使用することで、円滑な学校運営を行う。

② 事業の成果と課題

スクールバス（ハイエース）を購入したことで、登下校が安全かつ安心して通学できることはもちろんのこと、中学生の部活動や課外活動で使用することで教員への負担軽減や学校運営が円滑に進んだ。

③ 歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
児童送迎用車両購入事業	3,348,035	
計	3,348,035	

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	安全な通学の確保がなされたことは良い。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

● 小・中学校管理・運営事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が安心・安全な教育活動を行うために、施設の保守・整備・修繕を行う。

② 事業の成果

ア 施設の修繕状況（修繕料）

小学校 359,644 円

筒賀小消火栓ホース取替、筒賀小防火扉及び体育館トイレ扉開閉調整修繕

上殿小掛け時計修理

中学校 968,947 円

加計中昇降機修繕、加計中足洗い場等修繕、
加計中校長室及び特別支援教室ドアレール修繕
安芸太田中多目的室窓ガラス破損修繕

イ 管理、点検等業務委託（委託料）

小学校 4,074,686 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検
特殊建築物定期調査業務（筒小）、町内小学校施設清掃業務 等

中学校 3,397,550 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検
加計中エレベーター・空調設備メンテナンス委託
特殊建築物定期調査業務（加中）、町内中学校施設清掃業務

③ 評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	児童生徒の安心安全を確保するためには、施設整備は必要な事業である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

5. 教育振興費（小・中学校）

(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

- 遠距離通学費補助金（平成31年4月～令和2年3月）

区分	学校名	対象者数[人]	補助額[円]
中学校	加計中学校	6	32,900
	安芸太田中学校	7	35,000
合計(a)		13	67,900

• 特色ある学校づくり推進事業補助金

① 事業の目的・内容

各学校が独自性のある学校づくり推進事業の展開が実施できるように活動費補助を行い、もみじプラン21を基本とした特色のある活動を推進した。

小学校費

学 校 名	金額[円]	事業テーマ
加計小学校	420,000	自ら学び 自ら考え 行動する児童の育成 (マーチングバンド合宿指導講師招聘、バンドフェス参加費用等)
筒賀小学校	122,765	ふるさとに学び、高い自己肯定感を持つ児童の育成 (歌唱指導、けん玉指導、ものづくり教室、食農活動等)
上殿小学校	175,000	魅力ある上殿小学校づくり (表現力の向上、心豊かな児童の育成) (米づくり、紙すき、山ゆり訪問諸経費等)
戸河内小学校	81,565	自信と安心をはぐくみ、意欲を持った子どもを育てる教育活動の創造 (絵本づくり、観光ガイド、地域交流活動費等)
合 計(b)	799,330	

中学校費

学 校 名	金 額[円]	事業テーマ
加計中学校	169,000	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成 (マナー講座、キャリア教育、Nコン合唱指導謝金等)
安芸太田 中学校	105,630	未来を創る人づくり 学びを生き方につなぐ教育の創造 (マナー講座、キャリア教育、地域活動等)
合 計(c)	274,630	

② 事業の成果と課題

特色ある学校づくり補助金による外部講師の招聘や地域の方の協力により、各学校とも学校長の経営方針に基づいた特色ある学校経営及び教育研究推進に大いに成果があがった。

• その他補助金

① 事業の目的・内容

町内全小中学校が行う、合同修学旅行費用へ補助を行った。

また、平成29年度から行っている英語検定料補助を継続して実施し、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けた。

名 称		金額[円]	備 考
小学校	小学校修学旅行補助金 (関西方面)	391,439	@12,000×31人 ほか
小学校計(d)		391,439	

中学校	中学校修学旅行補助金（東京方面）	621,666	@18,000×32人 ほか
	英語検定料補助金	246,950	加計中 62名分 安芸太田中 38名分
	第53回中国中学校陸上競技選手権大会参加補助金	26,300	大会参加者1名分
中学校計(e)		894,916	
小学校費補助金合計(b)+(d)		1,190,769	
中学校費補助金合計(a)+(c)+(e)		1,237,446	

② 事業の成果

町内全小中学校が、合同修学旅行をそれぞれ実施し、学校間の児童生徒の交流を深めることができ、団体行動による社会性の育成と同世代同士のコミュニケーション育成につながった。

英語検定料補助により、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けることができた。受験した級を取得できた生徒は86.5%（前年度78.3%）で向上した。また、中学3年卒業時の英検3級取得率は50.0%（前年度54.3%）で、国の目標値50%に達することができた。

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	各学校とも特色のある学校経営研究推進に努力され成果が上がっている。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業

① 事業の目的・内容

経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、国の制度に則り、学用品や給食費など必要な援助を行った。

② 事業の成果

援助が必要な児童生徒に対して、経済的負担を軽減することができた。

③ 歳出決算額

準要保護児童生徒就学援助費に係る支給状況 (平成31年4月～令和2年3月)

区 分	対象者数			支 給 額 [円]			備 考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	39	22	61	494,944	513,670	1,008,614	
修学旅行費	5	8	13	77,323	297,048	374,371	
校外活動費	0	1	1	0	5,180	5,180	
新入学学用品費	0	0	0	0	0	0	
給 食 費	39	22	61	1,566,192	1,160,657	2,726,849	
医 療 費	10	1	11	15,000	5,500	20,500	
P T A 会 費	26	21	47	77,900	83,850	161,750	
新入学用品入学前支給	4	4	8	162,400	189,600	352,000	
計(f)				2,393,759	2,255,505	4,649,264	

※就学援助対象者の割合 小学校18%、中学校22%

特別支援就学奨励費補助金に係る支給状況 (平成31年4月～令和2年3月)

区 分	対象者数			支 給 額 [円]			備 考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	3	4	7	38,720	95,970	134,690	国庫補助額 小・中学校 153,000円
修学旅行費	1	2	3	13,923	74,262	88,185	
校外活動費等	2	3	5	1,000	16,200	17,200	
新入学学用品費	0	1	1	0	47,400	47,400	
給 食 費	3	4	7	131,040	214,137	345,177	
計(g)				184,683	447,969	632,652	
扶助費合計(f)+(g)				2,578,442	2,703,474	5,281,916	

④ 評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

外部評価	A	評価委員意見	児童生徒が安心して学べるよ今後も援助を継続することが必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 「山・海・島」体験活動推進事業

① 事業の目的・内容

日常とは異なる環境での生活を体験し、児童の自立心や主体性などを育てるとともに体験先の地域の方々や他校の児童との交流を通して、コミュニケーション能力など人間関係を形成する力を育てることにより、児童の豊かな心を育成することを目的とする。

今年度は5・6年生を対象に江田島での合宿を行った。

② 事業の成果と課題

ア 成果

体験活動に関わる児童アンケートの結果、ほとんどの児童が「体験活動を通して成長したと思う」と回答し、数か月後のアンケートでも同様の結果が得られたことから、多くの児童が体験活動により自らの成長を実感できたと考えている。

また、「自尊感情」や「コミュニケーション能力」の向上も見られた。4日間の活動を通して、自分たちの力で活動をやりきった達成感を感じるとともに、他者との協同的な活動により互いに自分の考えや思いを伝え合う力が向上したものと考える。

イ 課題

一方「自律性・責任感」や「集団への参画意識」については十分に高めることができなかった。今後は、本事業を行う中で育てたい児童の資質・能力を明確に位置づけるとともに、そのための活動の精査、振り返りの場の充実などを図る必要がある。次年度も、居住地である中山間地域とは違った自然環境における体験を行うため、江田島青少年の家での合宿とし、全小学校5年生による体験活動を計画する。

③ 歳出決算額 461,156 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				

外部評価	B	評価委員意見	野外活動や体験活動の充実が、児童の資質能力の向上につながっていることをデータから明らかにできるとよい。この事業を他の体験活動と関連づけて整理し、継続させてほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

6. 幼稚園費

(1) 幼稚園管理事業

① 事業の目的・内容

乳幼児期は、小学校以降の教育の基盤となる力を育む大事な時期であり、幼稚園では、幼稚園教育要領に沿って適切な教育課程を計画し実施してきた。

② 事業の成果と課題

町唯一の幼稚園の令和元年度における園児数は5名のみであり、集団教育や年齢に応じた教育が行えないこと等、大きな課題となっている。そのため、認定こども園や保育所との年齢別交流の継続実施や、ALTの週1回の訪問による英語あそびなどを積極的に実施し、小人数ではあるが工夫しながら想像力や表現力、思考力などを育てる取組みを行ってきた。しかしながら、当町における保育・教育施設のあり方の検討がなされ、幼稚園については、共働き世帯の増加による利用園児数の大幅な増加が見込めず、本来の幼稚園教育を果たすことが難しいとの判断により、令和2年度をもって廃園することとなった。

園児数及び教職員数（令和元年5月1日現在、単位：人）

区 分	戸河内
赤組(3歳児)	0
黄組(4歳児)	4
青組(5歳児)	1
園児数計	5
前年度園児数	4
前年度比較	1
園 長	1
教 諭	2
職員数計	3

※ 園長は、小学校長が兼務

③ 歳入歳出決算額

平成 23 年度から、若者定住施策の一環と少子化対策に資するための政策として、町内未就学児の保育料及び幼稚園授業料の減免を行っている。平成 25 年度より、満 18 歳未満の子を扶養する世帯の第 2 子以降無料となり、また平成元年 10 月から幼児教育の無償化により幼稚園授業料が無償となった。

歳入

区 分	金 額[円]	備 考
幼稚園授業料	44,400 円	第 1 子 2 人 (令和元年度 9 月分まで徴収)

歳出 (負担金及び補助金)

区 分	金額[円]	備考
広島県国公立幼稚園連盟会費	8,250	
幼稚園就園奨励費補助事業 (広島市私立幼稚園通園分)	31,100	国庫補助 10,000 円
遠距離園児通園費補助金	21,600	
合 計	60,950	

④ 評価

事業の 評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	
備 考			
外部評価	B	評価委員意見	一定程度の集団による教育活動が難しく、廃園は大変残念であるがやむを得ない。
事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

7. 保健体育費

(1) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業

① 事業の目的・内容

2つの学校給食共同調理場から、町内の幼稚園、小学校、中学校及び保育所、認定こど

も園へ、安心して安全な完全給食を提供する。

② 事業の成果と課題

平成元年 10 月から町独自の施策として就学前児童の給食費の無償化を行った。学校栄養士間で定期的に情報を共有し、広島県で取り組んでいる「ひろしま 100 万食プロジェクト」で募集した献立を取り入れたり、産直市や農家と連携し地元の食材を積極的に給食に取り入れたりすることで地域や町への関心を持つ機会を設けるとともに、豊かな献立作りを行っている。また、防災食を給食に取り入れ、自ら体験することで災害時に備え考える機会となった。

加計学校給食共同調理場（令和 2 年 5 月 1 日現在、単位：人）

職 員	場長 1 人、栄養士 1 人、調理員 正職 3 人、臨時 5 人（半日勤務・2 時間勤務各 1 人）、運転手（臨時）4 人 計 14 人			
学 校 給 食（職員数は臨時・非常勤含む）				
幼稚園	児童数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 143 人 ・生徒数 63 人 ・職員数 39 人 <li style="text-align: right;">計 245 人
戸河内	5	2	7	
小学校	児童数	職員数	合 計	
戸河内	33	8	41	
加 計	105	14	119	
中学校	生徒数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数 23 人 <li style="text-align: right;">計 87 人
加 計	63	15	78	
保育所・認定こども園（職員数は臨時・非常勤含む）				
保育所	3 歳児未満	3 歳児以上	職員数	・3 歳児未満 19 人
修 道	2	9	6	・3 歳児以上 45 人
認定こども園	3 歳児未満	3 歳児以上	職員数	・職員数 23 人
あさひ	17	36	17	計 87 人

筒賀学校給食共同調理場

職 員	場長（兼任）1 人、栄養士 1 人（兼任：筒賀小学校栄養教諭） 調理員 正職 2 人、臨時 2 人（半日勤務 1 人）、運転手（臨時）1 人 計 7 人			
学 校 給 食（職員は臨時・非常勤含む）				
小学校	児童数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 65 人 ・生徒数 37 人 ・職員数 31 人 <li style="text-align: right;">計 133 人
筒 賀	40	10	50	
上 殿	25	7	32	
中学校	生徒数	職員数	合 計	
安芸太田	37	14	51	

学校給食費徴収状況

（決算書 P. 40）

	年度	調定額 [円]	収入額 [円]	収入未済額 [円]	未納数 [件]
--	----	------------	------------	--------------	------------

現年度分	31年度	21,792,054	21,770,415	21,639	5
過年度分	27年度	9,800	0	9,800	2
	30年度	123,417	123,417	0	0
	計	133,217	123,417	9,800	2
合 計		21,925,271	21,893,832	31,439	7

収納率 現年度分 99.53% (対前年比 0.37%増)

過年度分 92.64% (対前年比 0.32%減)

③ 評価

事業 の 評 価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	地域の食材を給食に取り入れることは良いことである。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

○ 教育委員会 生涯学習課

1. 社会教育費

(1) 社会教育総務管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育の推進を図るため、各種団体への負担金・補助金を支払う。

社会教育関係負担金の内訳

名 称	金額[円]
広島県社会教育委員連絡協議会会費	25,000
けんみん文化祭ひろしま'19開催負担金	94,659
広島県公民館連合会負担金	76,900
広島県公民館大会参加負担金	12,000
合 計	208,559

社会教育関係補助金の内訳

名 称	金額[円]
安芸太田町女性連合会事業補助金	1,170,000
安芸太田町子ども会連合会事業補助金	250,000
安芸太田町PTA連合会事業補助金	220,000
青少年育成安芸太田町民会議事業補助金	645,000
安芸太田町文化団体連合会事業補助金	300,000
合 計	2,585,000

② 事業の成果と課題

各種団体への活動を支援することで、団体の活発な事業展開が図られた。ただし、団体ともに会員数が減少していることから、今後の団体の継続性について課題がある。

③ 歳出決算額 12,948,031円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

外部評価	B	評価委員意見	会員数が減少するなかでも努力されているところへの支援は必要。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(2) 社会教育施設管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育施設の運営維持のため、以下の施設について保守・整備・修繕を行う。

施設名	金額[円]	備考
戸河内ふれあいセンター	8,611,704	賃金・需用費・委託料 ほか
筒賀公民館	408,292	光熱水費・通信運搬費 ほか
筒賀公民館東区分館	114,731	消耗品・電話料・施設管理委託料 ほか
温井文化センター	441,368	施設管理・浄化槽管理委託 ほか
香南文化センター	353,003	指定管理・建物共済

② 事業の成果と課題

施設の管理について、各施設とも老朽化による修繕の増加が今後とも予想される。ただし早急に大規模改修とはならないことから、不具合箇所を早期に発見し適切な補修を行なう。そして、指定管理制度導入をについても検討する。

③ 歳出決算額 9,940,383 円

(3) 文化財保護管理事業

① 事業の目的・内容

指定文化財を含め貴重な財産である文化財の保存維持を図る。

種 別	件 数
国指定	2
国登録	2
県指定	14
町指定	37

② 事業の成果と課題

近年、文化財に対する関心が高まっている。これまで、文化財の考え方は大きく二つに分けられた。単に文化財を限られた人々で守り、価値を損なうことなく後世に継承していく「保存」、そして地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親しんでもらう「活用」である。これからは、文化財の本来的な価値の継承に配慮しつつ、地域ニーズに沿った形での積極的な「活用」が新たに組み込まれるとともに、課題にもなっ

ていくと思われる。

③ 歳出決算額 755,720 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
備考			
外部評価	B	評価委員意見	文化財の公開を推進して、町民の文化財への関心を高めていただきたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(4) 生涯学習推進事業

当事業の歳出決算額は3,198,354円である。以下に主要な項目について述べる。

● 地域生涯学習センター（小学校廃校地域対象）

① 事業の目的・内容

廃校となった小学校区を対象に地域生涯学習センターを開設した。

各地域の団体と連携し、講座や教室、スポーツ大会の開催、地域情報の提供等を実施し地域の活性化を促す。

② 事業の成果と課題

講座や教室、スポーツ大会の開催等で地域の活性化が図られた。

③ 事業額 255,600 円

センター名	金額[円]	備考
二郷地域生涯学習センター	255,600	報酬
合計	255,600	

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない

	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	地域が活性化する行事等を計画し実施することを望む。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 安芸太田町成人式

① 事業の目的・内容

新成人の門出を祝福するとともに、大人の仲間入りをしたことによる義務と責任を再確認してもらうための事業である。

開催日時 令和2年1月12日（日） 11:00～

開催場所 温井スプリングス

対象者 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ

対象人数 男性 37人 女性 19人 計 56人

出席者数 男性 28人 女性 14人 計 42人

内 容 第1部「記念式典」
第2部「記念行事」

オープニング

懇親会（テーブルマナー、安芸太田町の紹介、恩師からのメッセージ、新成人レポート、中学校の思い出スライドショー、新成人へのビデオメッセージ）

記念品 「万年筆・ボールペン」

② 事業の成果と課題

例年とおりの記念式典に加え、懇親会形式の記念行事を行い、2部構成に内容を一新することで、新成人自らが成人式に関わり、自分たちの成人式を作り上げ、新成人としての自覚と責任を高めることができたと思われる。

また、出席率は75%と高く、成人式を通して町への思いを新たにし、今後町へ何らかの関わりをもつことにつなげることができた。

③ 事業額 1,222,891円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	企画面で工夫がされており、持続的な取組となるよう期待しています。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 公民館講座（そろばん教室）

① 事業の目的・内容

そろばん教室を通して、現代の子どもたちに低下しがちな集中力、忍耐力、積極性を養う。

② 事業の成果と課題

受講者数は16人であった。

毎月検定を行うことにより、よりレベルを上げて行くというチャレンジ精神が養われている。

③ 事業額

歳入（受講料） 226,500円

歳出（講師謝礼）266,000円 @7,000円/回×38回

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				

外部評価	B	評価委員意見	町民ニーズに沿った内容を今後も模索・継続してほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

• カルチャー教室

① 事業の目的・内容

都市部では様々なカルチャー講座が実施され、意欲のある人が参加している。しかし安芸太田町ではたとえ意欲がある人がいても、交通手段等の事情により受講することが難しい。そこで町が講師を招へいし、町民に対し安価で受講できるカルチャー講座を開講することにより、町民の文化に対する意識向上や生きがいがづくり、日常の充実を図る。

太極拳を、3ヶ月を1つの期間として、3期（第1期：5月～7月、第2期：8月～10月、第3期：10月～12月）実施した。トールペイント（6月～11月）を1期実施した。

新規の講座として美磨女ヨガは、3期（第1期：6月～7月、第2期：8月～9月、第3期：10月～11月）実施した。

また、インターネットの利用促進とインターネットの活用による生きがいがづくり等を目指し、パソコン教室を第1期（7/22～24）実施した。3月に第2期（3/9～3/11）を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

内 容	開催日	開催場所
暑中見舞いの作成と画像の処理	7月22日～24日	本庁東館
インターネットの活用	3月9日～11日（中止）	川・森・文化・交流センター

② 事業の成果と課題

受講者数 86 人と例年並みの受講があり、町民の生きがいがづくり、日常の充実、町民の交流が図られた。

太極拳、美磨女ヨガは女性を中心におおむね 10 名以上の受講があり、パソコン教室は幅広い年齢層の申込があり、生きがいがづくりが図られた。

今後は各地域で開催し、更なるインターネットの利用促進とインターネットの活用による生きがいがづくりを目指す。

③ 事業額

講師料、講師交通費 1,448,230 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない

	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	楽しく学び生きがいになる講座の継続を望む。講座によっては短いスパンで集中的に実施される工夫は良い。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

● 芸術文化推進事業

① 事業の目的・内容

質の高い芸術文化に触れてもらうことにより、町民の芸術文化感覚を養う。

また、文化団体連合会の事務局を教育委員会に置き、町民の芸術文化活動を発表する場を設けることにより、町民の日々の生きがいづくりを支援する。

② 事業の成果と課題

質の高い芸術文化は町民に感動を与え、また、町民の発表の場では素晴らしい演舞等の中に笑顔を生み出すことができた。

高齢化等による観客数の減少や、文化団体の出演団体数が減少している。加盟団体数も微減しており、支部での活動は困難となったため、平成 28 年度から支部をなくし、連合会一本としている。

ア 安芸太田町文化団体連合会活動の促進・支援

総会 年 1 回開催（4 月 22 日）

幹事会 年 2 回開催

イ 文化団体連合会の主な主催事業

第 3 回安芸太田町文化芸能フェスティバル

日 時 10 月 26 日（土）～27 日（日）

場 所 川・森・文化・交流センター

③ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	質の高い芸術・文化に触れることは心の醸成のために必要である。継続して支援願いたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

• 人権関係

① 事業の目的・内容

ア 人権フェスタの開催

令和元年度は町・教育委員会の主催で開催した。各団体・機関が実施している人権イベントの連携と交流のネットワークを図り、お互いの活動を紹介し合い、情報を共有し、人的な交流を深め合うことを大切にするため、平成20年度から実施している。

日時 令和元年12月7日(土) 13:30~15:45

場所 川・森・文化・交流センター(1階やまびこホール)

・講演会 講師:吉田幸(RCC(株)中国放送) 演題:「大切におもうもの」

・人権展:町内小学6年生の人権標語展示

(人権標語は町内小・中・高等学校、町内企業等所で展示)

② 事業の成果と課題

人権週間・障害者週間と合わせ、令和元年度で12回目となる「人権フェスタ」を開催した。アンケートより「人権について楽しく話を聞くことができました」、「もっとたくさんの方に聞いてほしい」、「多様性について、再度考える機会になりました」という感想があった。

町内外から約120人の参加があり、多くの方との交流を深めるなかで人権の大切さを改めて確認できるイベントとなった。

③ 事業額 120,968円

④ 評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	恒例のイベント実施にとどまることなく、「現代的課題」の1つとして関係団体・機関との連携を充実させてもらいたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

- 子ども会活動

- ① 事業の目的・内容

連合会の事務局を教育委員会内に置き、町子ども会連合会としての主催活動を展開し、情報の交換・共有を図る。

- ② 事業の成果と課題

様々な事業を行う中で地域の子ども会活動を支援し、子どもたちに楽しむ場を提供した。子どもの減少により、子ども会を組織できなくなる地域が増えているが、町子ども会連合会を受け皿にして、町子ども会連合会主催活動には全ての子どもが参加できる体制をとっている。

- ア 安芸太田町子ども会連合会活動の促進・支援

総会 年1回開催（5月13日）

役員会 年4回開催

- イ 漁村交流会

趣旨 海沿いに面する地域に住む町外の子どもたち（山口県熊毛郡上関町）との交流を図るとともに、お互いの子ども会活動の情報を交換しあう中で、更なる活動の活性化を進める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

上関町子ども会育成連絡協議会

日時 令和元年8月11日（日）

場所 山口県熊毛郡上関町

- ウ 親子クリーンハイキング ※新型コロナウイルス感染防止のため中止

趣旨 親子でハイキングをすることにより親子の絆を深めるとともに、ハイキングの際、ゴミを拾うなど美化活動を行なうことにより環境保全の意識、ボランティア精神の向上を高める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

日時 令和2年3月15日（日）

場所 戸河内地域

- PTA 活動

- ① 事業の目的・内容

安芸太田町 PTA 連合会（以下町 P 連とする）の事務局を教育委員会内に置き、町 P 連としての主催活動を促進し情報交換・共有を図るとともに、各学校単位 PTA（以下「単 P」とする）の活動を支援する。

② 事業の成果と課題

単 P の支援及び町 P 連会議を行うことにより、単 P 間の情報の共有ができ PTA 全体としての意向の方向付けができた。

ア 安芸太田町 PTA 連合会活動の促進・支援

総会 年 1 回開催（5 月 7 日）

理事会 年 2 回開催

県 PTA 全小・中学校 PTA 会長研修会参加

県 PTA 研究大会参加

日本 PTA 中国ブロック研究大会参加

全小・中学校母親代表研修会

イ 四季の教室『夏』～デイキャンプ～川と山であそぼう～

趣旨 町内の四季折々の自然に直接触れ、豊かな地域の自然の特色を楽しく学び、郷土を愛する心を育む。

主催 安芸太田町 PTA 連合会

安芸太田町子ども会連合会

日時 令和元年 9 月 29 日（日）

場所 猪山地区 雉野原キャンプ場

子ども 21 名、大人 7 名参加

● 青少年育成町民会議活動

① 事業の目的・内容

町民会議の事務局を教育委員会内に置き、町民会議として主催活動を促進するとともに、情報交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

各種事業を行うことにより関係団体間の連携・情報交換ができ、地域全体で青少年を育んで行くという大きなつながりができた。

ア 青少年育成安芸太田町民会議活動の促進・支援

総会 年 1 回開催（6 月 3 日）

常任理事会 年 3 回開催

イ 15 周年記念講演会

趣旨 町民会議は、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。青少年育成安芸太田町民会議設立 15 周年を迎え、記念講演会を開催する。

日時 令和元年 11 月 28 日（木）

場所 戸河内ふれあいセンター

講師 元広島東洋カープ監督 達川光男さん

来場者 約 224 人

ウ 立志式

趣旨 成長過程にある安芸太田町内中学校2年生を激励するとともに、生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図る。

日時 令和2年1月25日(土)

場所 川・森・文化・交流センター

講師 医師 齊藤保文さん(杉の泊地区出身)

対象者 町内中学2年生32人

エ 第12回あきおたゲームハイキング ※新型コロナウイルス感染防止のため中止

趣旨 町内の自然・文化・歴史を訪ね、地域の方から話を聴き、地域を知るとともに、郷土に誇りを持ち郷土を愛する心を育む。

また、多くの仲間との交流を通じて、協力することの大切さを学ぶとともに、友情の和を広げ世代の枠を超えた交流の中で、お互いを理解しあう。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

日時 令和2年3月27日(水)

場所 筒賀地域

③ 評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	地域全体で青少年を育てていくつながりこそが大切である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(5) 図書館運営事業

① 事業の目的・内容

・図書館協議会開催

日時 令和2年2月20日(木)

議題 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について

・図書購入状況

	区分	元年購入	金額 [円]	備考(寄贈含む)
本館	蔵書	678冊	1,015,602	総冊数 46,404冊
	雑誌	19種類	150,123	総冊数 621冊
筒賀分室	蔵書	146冊	214,111	総冊数 9,715冊
	雑誌	4種類	28,530	総冊数 263冊
戸河内分室	蔵書	211冊	305,372	総冊数 14,326冊
	雑誌	9種類	77,962	総冊数 414冊
大型絵本・紙芝居		4点	8,086	蔵書へ含む
視聴覚		8点	48,600	総数 890点

・図書館利用状況

ア 開館日数	[本館]	281日
	[筒賀分室]	264日
	[戸河内分室]	289日

イ 貸出し冊数

区分		本館	筒賀分室	戸河内分室	移動図書館
貸出し冊数	一般書	8,235冊	1,434冊	3,088冊	1,646冊
	児童書	12,560冊	1,842冊	2,463冊	4,419冊
	雑誌	950冊	108冊	498冊	10冊
	視聴覚	1,469点	69点	271点	19点
	その他	27冊	0冊	0冊	0冊
	計	23,241冊	3,453冊	6,320冊	6,094冊

ウ 移動図書館やまびこ号

- ・月1回 火・水・木・金曜日に町内22箇所を巡回
(認定こども園あさひ、加計中学校を追加)

- ・利用状況 利用者数 1,953人

エ 平成30年度に引き続き司書2名体制で巡回活動を行った。

- ・小学校4校、中学校2校 絵本の読み聞かせ、図書委員会活動支援など
- ・幼稚園・保育園・児童センター7か所 絵本の読み聞かせ
- ・広島県教育委員会生涯学習課との共催事業「なかよしおはなし会」
幼児と親の参加
- ・読書会の定着
小学校との協働授業による読書量の増加

② 事業の成果と課題

図書館での読書環境改善や、図書館利用の促進と子どもの読書を推進する取り組みとして、図書館外へ本を送り出す「移動図書館やまびこ号運行」や「司書による巡回活動」、

「県立図書互助・教弘文庫」、「おひさま文庫（旧学校図書）」活動を定例行事等と合わせて展開し、多くの本に出会う機会と情報を提供することで利用増加を図ったが、本館と各分室の貸出し冊数の合計は前年からやや減少した。移動図書館の利用者数については、平年並みとなった。

③ 歳出決算額 12,720,080 円

④ 評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	移動図書館など本に親しむ環境づくりを進めてもらっている。県立図書館との連携も引き続き進めてもらいたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(6) 放課後子ども教室推進事業

① 事業の目的・内容

放課後や長期休業日に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。

地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	加計小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	加計小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立加計小学校	
4	実施日数	年間： 235 日	平日 180 日
			土曜日及び長期休 55 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学4年生	人数： 27 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	修道放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧修道小学校区	
3	実施場所	旧修道小学校・修道活性化センター	
4	実施日数	年間： 233 日	平 日 180 日
			長期休業日 53 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 14 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	戸河内小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	戸河内小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立戸河内小学校	
4	実施日数	年間： 242 日	平 日 181 日
			土曜日及び長期休業日 61 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 17 人

区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	津浪放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧津浪小学校区	
3	実施場所	旧津浪小学校	
4	実施日数	年間： 53 日	平 日 0 日
			長期休業日 53 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 13 人

② 事業の成果と課題

令和元年度も町内4箇所で事業を実施した。加計小・戸河内小放課後子ども教室については土曜日も開校している。

勉強やスポーツ・文化活動や長期休業日期间には地域住民との交流活動を行い、子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりが図られた。

利用希望児童は増加したが、施設規模の問題から希望者全員を受け入れることができず、課題が残ったが、年度途中で修道放課後子ども教室を平日も開校した。

補助事業	補助事業対象経費総額	補助金額 (2/3)
放課後子ども教室推進事業	4,869,250 円	3,409,000 円

③ 歳出決算額 8,075,900 円

④ 評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	放課後子ども教室が、子どもたちの居場所になっている。引き続き充実した取組をお願いしたい。	
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

2. 保健体育総務費

(1) 保健体育総務管理事業

① 事業の目的・内容

ア スポーツ推進委員報酬 13人 442,000円

イ 中国地区スポーツ推進委員研修会

日時 令和元年6月22日（土）～23[日]

場所 岡山県津山市（ベルフォーレ津山）

内容 講演、実技研修等

ウ 令和元年度広島県スポーツ推進委員研究大会兼芸北地区スポーツ推進委員研修会

日時 令和元年7月13日（土）～14日（日）

場所 北広島町千代田開発センターほか

内容 講演会・実技研修

エ 第60回 全国スポーツ推進委員研究協議会

日時 令和元年11月14日（木）～15日（金）

場所 三重県津市（津市産業スポーツセンター）

内容 講演会等

オ 広島県女性スポーツ推進委員研修会

日時 令和元年11月30日（日）

場所 福山市（ローズアリーナ）

内容 講演・実技研修

カ 安芸太田町体育協会総会

日時 令和元年5月28日（火）

- 議題 ・平成 30 年度事業報告及び収支決算報告について
・令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

補助金 1,620,000 円

キ メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業

合宿実績はないが、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控える中、メキシコ選手団等の事前キャンプや、日本唯一のアーバンスポーツの世界大会「FISE ワールドシリーズ広島」の開催など、スポーツで盛り上がる広島を体感できる「メキシコ選手団事前キャンプ&広島発アーバンスポーツフェスタ」が、イオンモール広島府中で開催された。

参加型体験イベントとして、加計高校ライフル射撃部の協力のもと「ビームライフル体験コーナー」を設営。2 日間で延べ 714 名の体験者があった。

② 事業の成果と課題

スポーツ推進委員に対し、積極的に研修会に参加するよう周知した結果、多くの委員が研修会に参加した。このことによりスキルアップ及び情報共有が図られた。

また、全国高校ライフル射撃大会を実施することで町内の宿泊業者、弁当業者、印刷、記念品業者、バス事業者等に経済波及効果が生まれた。

メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業については、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け、平成 29 年 5 月にメキシコオリンピックチームの対象 26 競技の広島県内実施に関する協定を締結した。同年 8 月には個別合宿地が県内 10 市町に決定し、安芸太田町は平成 30 年からライフル射撃競技の受け入れとなった。

平成 30 年度に係る事前合宿は中止となったが、現在、メキシコのオリンピック選手団が安全・安心に練習に取り組み、本大会に向けて万全の態勢で臨めるように支援体制を築くとともに、オリンピックを通じスポーツに限らず、地域との文化的な交流が深まるようなメニューを計画している。また、広島県、日本ライフル射撃協会及び広島県ライフル射撃協会等と連携を図る。

③ 歳出決算額 5,067,465 円

第 57 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

日時 令和元年 7 月 28 日（日）～31 日（水）

場所 つつがライフル射撃場

参加 43 都道府県 126 校 参加選手 577 人

宿泊者数 延べ 1,215 人（うち町内 延べ 915 人）事務局把握分

収 入

項 目	金額[円]	備 考
スポーツ団体負担金	800,000	全国高等学校ライフル射撃部 600,000 日本ライフル射撃協会 200,000
町補助金	2,300,000	地域活性化センター基金 800,000 町補助金 1,500,000
参加料	2,572,000	団体 1,000,000 個人 1,572,000
雑 入	521,000	出店料 30,000 広告料 50,000 記念Tシャツ等販売 439,500 円 国内旅行保険金余剰金 1,500 円
預金利息	11	
繰越金	988,693	平成 30 年度より繰越
計	7,181,704	

支 出

項 目	金額[円]	備 考
報償費	472,200	参加者記念品ほか
旅 費	0	
需用費	1,272,743	射撃競技用品消耗品・パンフ印刷ほか
役務費	684,596	競技用具郵送他
使用料及び賃借料	3,042,078	送迎バス・機材貸出料ほか
食料費	38,400	役員用弁当代
委託料	518,046	保険・交通警備員ほか
計	6,028,063	

収入 7,181,704 円 - 支出 6,028,063 円 = 1,153,641 円 次年度へ繰越し

④ 評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

外部評価	B	評価委員意見	スポーツを健康づくりや人づくりと関連付け、指導者育成とともに気軽に親しめる教室開催を期待する。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(2) 体育施設管理事業

① 事業の目的・内容

町内の体育施設の維持管理、修繕等を行う。

② 事業の成果と課題

近年すべての体育施設は老朽化しており、年々修繕費等の経費が増大している。

③ 歳出決算額 44,753,493 円

歳出の内訳

施設	設置場所	支出額[円]	備考
体育施設	加計体育館	7,650,362	指定管理委託料 電気、上下水道、燃料等
	修道活性化センター	2,144,499	管理委託料 保守点検・維持管理等
	津浪体育館 (津浪スポーツ広場も含む)	259,468	AED レンタル
スポーツ広場	見入ヶ崎スポーツ広場	25,926	管理委託料、水道等
	温井スポーツ広場	303,769	管理委託料、電気代
	松原スポーツ広場	30,000	管理委託料
	至誠スポーツ広場	12,529	電気代
	筒賀ふれあいスポーツ広場	234,993	電気・水道代、管理委託料等
	筒賀多目的スポーツ広場	93,437	電気代等
	修道スポーツ広場	62,244	電気代、管理委託料等
	坂根スポーツ広場	888,409	管理委託料、保守点検等
	殿賀スポーツ広場	161,464	管理委託料、電気代等
	杉の泊スポーツ広場	30,000	管理委託料
	筒賀ゲートボール場	3,244	電気代
学校体育施設	加計小学校体育館	102,390	管理委託料、夜間照明
	筒賀小学校	211,074	夜間照明
	上殿小学校	31,404	夜間照明
	加計中学校	170,726	夜間照明
その他	旧戸河内中学校	204,291	夜間照明、土地賃借料等

	向光石広場	30,000	管理委託料
町内プール	加計・戸河内・筒賀・坂原・井仁・松原・猪山・上殿・寺領・平見谷・修道・津浪	32,103,264	賃金、管理委託料、保守点検・維持管理・水質検査、AED レンタル、工事請負費等
合 計		44,753,493	

ア 加計体育館利用状況

年間利用状況

利用日数[日]	利用件数[件]	利用者延べ人数[人]
302	585	9,807

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	22	251	3,423	236,840
ビーチボールバレー	1	70	948	56,990
バドミントン	9	59	601	85,840
卓球	11	63	727	24,710
テニス	1	39	326	—
フットサル	4	54	1,169	143,165
バスケットボール	1	1	2	615
その他	13	48	2,611	418,622
合 計	62	585	9,807	966,782

イ 戸河内ふれあいセンター利用状況

年間利用状況

メイプルホール			アリーナ		
利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]	利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]
45	88	4,002	189	371	6,989

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	3	12	144	34,000
ビーチボールバレー	1	32	139	16,000
ソフトバレーボール	1	40	166	21,000
バドミントン	7	45	680	227,500
卓 球	6	97	1,543	60,080
剣 道	4	68	726	20,200

その他	30	77	3,591	266,600
小計	52	371	6,989	645,380
メイプルホール (冷暖房)	27	88	4,002	406,900
楽屋 (冷暖房)	9	24	64	37,420
ピアノ、音響等				2,610
ロビー	0	0	0	17,317
小計	36	112	4,066	538,937
合計	88	483	11,055	1,184,317

(3) 社会体育振興事業

① 事業の目的・内容

ア 第8回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会

日時 令和元年7月7日(日)

場所 深入山グラウンド・ゴルフ場

参加者 99人(21自治会)

イ 第22回近郡親善ゲートボール大会

日時 令和元年9月28日(土)

場所 坂根スポーツ広場

参加者 44人(8チーム ※町内3チーム)

② 事業の成果と課題

行政は今後も住民ニーズを把握しながら、スポーツ振興に資する住民の活動を支援する必要がある。

③ 歳出決算額 197,950円

④ 評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	多くの施設の管理に尽力されています。町内外の住民の交流の場としてさらに活用の機会が広がればよいと思う。	

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了
------------	---